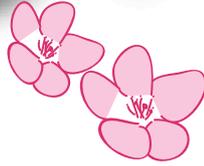


でんくう 4月



どこのサテライト?クイズ

住宅街にある自宅1階部分がお店で、中には所せましと天然石を中心とした創作ジュエリーが展示されている。じっくり見せていただくと、さりげないアクセサリ、お手軽な価格のピアスやストラップも。店主自らの加工で、おばあちゃんの真珠も素敵なネックレスにリフォームできるなど、色々相談にのってもらえ技術も確か。ヒントは3月のショーケース展示のサテライトです。



写真の北はりまのサテライトはどこでしょう？

※ サテライトとは、北はりま田園空間博物館に登録されている見どころです。まるごとガイドやホームページに200あまり紹介されています。

◆クイズに応募しよう！

答えと必要事項を明記して、ご応募ください。正解者の中からお1人に、このサテライトから提供の「虫入り琥珀原石＋研磨紙やすりセット」(¥6000相当)をプレゼント！

【記入要項】クイズの『サテライト名』、氏名、住所、電話番号、広報紙にゅすでんくうへのご意見・ご感想

【応募資格】でんくう総合案内所まで当選賞品を受取りに来館いただける方

【締切り】4/20日必着。発表は当選者へ直接連絡します。

【応募方法】①ハガキ②メールまたは③直接でんくう総合案内所へ。案内カウンターに応募用紙があります。

【応募先】①〒677-0022 西脇市寺内 517-1 北はりま田園空間博物館 にゅすでんくうクイズ係

②メール: quiz@k-denku.com

★3月号のクイズの答えは3Pを見てね！





鍛冶屋線市原駅記念館

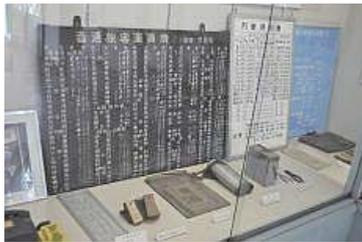
西脇市市原町233-3 Tel.0795-22-3111
(西脇市役所建設経済部)

市原駅を利用したことのある人や鉄道ファンにはとても懐かしく興味深い、当時の時刻表や料金表・駅員の制服・写真・新聞記事などが展示されている。H2年3月に鍛冶屋線は廃線。関係者はどんなに残念であったのだろう。加古川の舟運が鉄道に変わり、当時の産業と住民の足として欠かせなかった鍛冶屋線。



大正2年に野村～西脇(播州鉄道)、大正10年西脇～市原、大正12年市原～鍛冶屋まで開通。コヤノ美術館の元亭主、藤井氏とこの鉄道の隆盛が重なる。

切符売り場は駅員さんが出てきそうなまま。中



には薪ストーブも残されている。春は駅舎前の桜がきつときれいだろう。多目的トイレも整備され、新しいベンチや時計も設置され待ち合わせにも良さそう。北側には数年前にきれいにペイントされた列車。待っているとそのうち動き出しそうな感じ。このかわいらしい列車を撮影しようと、カメラを持った人の姿もあった。

歴史を知らない人も楽しめる空間になり、車を止め、ベンチに座って休憩できるスポットとしてもお勧めのサテライトである。



22年の11月に吉田稔美さんのイラストをペイントし、とても素敵な列車に生まれ変わった。デザインの原画は「海」「宇宙」「妖精の音楽」などテーマにした4枚の絵巻風の絵で、浦島太郎やクジラに飲み込まれるピノキオも登場。「親子で空想をふらませ、楽しめる絵」はぜひ近くでじっくりご覧ください。

★クイズ正解者へのプレゼントは…列車のイラストデザインを手がけた吉田稔美さんの「のぞきからくり絵本・ピープショー」と魅力探訪紀行でした。

でんくう各部からのお知らせ

【総務部】

・新入会員のお知らせです。正会員に荒木政美さん(加西市)、梅田邦彦さん(西脇市)の2名です。

【サテライト部】

・身近な水環境の全国一斉調査を北はりまの3河川で行います。6/3(日)9時同時に調査を開始。今回で7回目になります。
・バスツアー「ホテル観賞の夕べ」を6/15(金)三宮17時発→フロイデン八千代(夕食・ホテル観賞)→23時帰着で\2,300円企画中です。

【広報部】

・情報コーナーショーケース展示は4月は播州織工房館です。
・4月のサテライト訪問は4/14(土)11時～なごみの里山都へ行きお花見と昼食。その後、西谷公園や楊柳寺へもお花見に。今回からタイトルを「行って

みいへん、食べてみいへん」とし、会員に限らず一般の方もご一緒に行きましょう。

【プログラム部】

・散歩道「オープンガーデンを訪ねて」を5/6(日)でんくう9時15分集合→いぶきの森→5軒のオープンガーデンを巡りまちの駅たかゴール。(昼食は曾我井の崇福寺)参加費は\500。
・あぐり体験バスツアーは5/27(日)に8時明石発→西脇市明楽寺の田畑でジャガイモ掘り、田植え、サツマイモの苗植え。大人\3,800(ジャガイモ3kgの土産付き)、子ども\2,000(土産なし)です。
・バスツアー「日本のへそでホテル観賞」を6/9(土)～10(日)1泊2日\9,800で行います。14時30分三宮発→西神中央→道の駅みき→浄土寺→でんくう→すみよし桃源郷(夕食)→(ホテル観賞)木縫の里→西脇市立青年の家(泊)。10日：子午線モニュメント→日本のへそ公園→岡之山美術館→にしわき経緯度地球科学館→でんくう(昼食購入)→帰路

2012年
3月

こんなことやりました! でんくうの活動



ごまた 護摩焚きのモクモク立ち上る煙が、祈りを叶えてくれそう

20(祝) バスツアー「神秘的な護摩焚きと北はりまのめぐみを味わう旅」 43名参加

明石発北はりまを1日楽しむバスツアーは参加者の要望も有り今回から西神中央に加え道の駅みきからも乗車できるようになった。

当日は好天に恵まれながらも、春はまだ遠い。バスを降り肌寒さを感じながら、山裾から20分ほ

ど坂道を歩いて、**金蔵山金蔵寺**を目指す。

本堂についてからさらに僧侶、法螺貝を吹く山伏に導かれ護摩場へ向かう。護摩焚きについての説明の後、奉弓の儀、奉刀の儀、奉斧の儀が執り行われ、火がつけられる。

参加者の願いをのせ煙が上がる。「護摩焚きは初めて参加した」という感動の声が。



その後暖かい日差しのある所に腰掛け、**ふるさと工房夢蔵**のお弁当で昼食。地元的新鲜野菜を使用したお弁当はボリュームたっぷり



大好評。

次に訪れたのは、天然水が湧き出る**新松ヶ井の水公園**。遠方から定期的に汲みに来る人もいる人気のスポット。

今回はバスの中で説明を受け、前日スタッフが用意した2リットルのおいしい水を見学後の土産にした。

箸荷いちご園では、甘いイチゴがお待ちかね。説明を受け、へた入れの紙コップを受け取ると一斉にハウスの中へ。真っ赤な大きなイチゴに思いっきりかぶり付き「もう食べられないと」言いながらも手が伸びる。

最後の締めはバスの中で、**千ヶ峰TAiYAKI宮崎**の出来たてのタイ焼きを頬ばり、初春の旅を終えた。



NPO 法人北はりま田園空間博物館のボランティア会員になりませんか?

この紙面でも紹介しているように「でんくう」では多様な活動をしています。

- ▲サテライト部：サテライトの登録やサテライトを巡るバスツアーの企画運営、サテライト相互の交流
- ▲プログラム部：イベントや体験教室、散歩道、あぐり体験、バスツアーの企画運営
- ▲広報部：活動の情報発信(ニュース、チラシ、ホームページ)や活動の取材・記録など
- ▲案内人：バスツアーや散歩道などで参加者への案内など

あなたがやってみたい活動や、できたら良いなあと思っているボランティアと一緒にやってみませんか。

関わることで、パソコンでチラシが作れるようになったり、地域の知らない見どころを訪ね、いつかは案内する立場に。このことがきっかけで、多くの出会いがあり、自分の目指す方向がはっきりすることもあるでしょう。また、ボランティアですから都合の良い時に活動していただけます。ちょっと気になるというあなた!お気軽にお問い合わせください。

活動に関わる費用や、交通費程度の活動費が出ますので、持ち出しはなく安心です。

対外活動
スケジュール

3月

3日 北海道富良野市7名 西脇市の姉妹都市からの視察 長谷川代表、藤原副代表対応
29日 神戸市アキバ観光30名 地産地消の取り組みを見学 池田副代表対応